

岡山天文博物館と 小学校を結んで キラ理科の授業！

太陽の拡大映像を ライフで共有

9月10日(金)、六条院小学校と天文博物館を繋ぎ、6年生が理科の授業で、太陽のオンライン学習に取り組みました。

この日の学習目標は、「太陽は、どんな星なのか調べよう。」です。まず、知っていることを発表し合った後、偏光グラスで太陽を観察しました。丸い形で熱のある星であることはわかりましたが、詳しいことがわからないので、天文博物館の松岡学芸員が、オンラインで登場し、天体望遠鏡でとらえた太陽の映像をリアルタイムで見せてくれました。

プロミネンスや黒点もはっきり捉えられており、地球の大きさを黒いまるで示すと、巨大な太陽(地球の直径の109倍)の大きさが実感できたようでした。そのあと、画面を通して学芸員に質問して、いろいろと説明を受けていました。

岡山天文博物館の学芸員からの説明を聞く子どもたち [R3.9.10(金)]



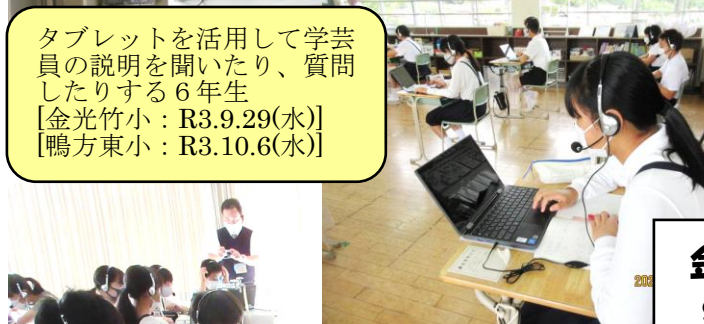
偏光グラスで太陽の観察



キラリ2 [カリキュラムのキラリ]



タブレットを活用して学芸員の説明を聞いたり、質問したりする6年生
[金光竹小：R3.9.29(水)]
[鴨方東小：R3.10.6(水)]



天文博物館の天体望遠鏡でとらえた太陽の映像

金光竹小でも 竹林寺山から 宇宙へ！

9月29日(水)、金光竹小学校でも、6年生の理科で、太陽の学習に取り組みました。教室と竹林寺山の岡山天文博物館とを結び、博物館の天体望遠鏡でとらえた太陽の映像を活用して学習しました。

金光竹小学校では、一人一人が、タブレット端末を持ち、天文博物館の学芸員と直接対話しながら、太陽のライブ映像を活用して学習しました。

10月6日(水)には、鴨方東小学校でも、6年生が同様の学習に取り組みました。

キラリ4 [子どもたちの活動のキラリ]

